

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)モリタグループ関西地区営業	階数	地上2F
建設地	大阪府八尾市神武町	構造	S造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	56人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年3月28日
敷地面積	4,139㎡	作成者	株式会社三菱地所設計
建築面積	1,701㎡	確認日	2022年3月30日
延床面積	2,937㎡	確認者	株式会社三菱地所設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (35 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77% (35 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 77% (35 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

音環境	3.8
温熱環境	2.6
光・視環境	3.8
空気質環境	4.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.6

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.7
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

水資源	3.0
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	3.9
地域環境	3.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・八尾市の市街化区域に、事務所と工場の複合用途の流通業務施設を鉄骨造・2階建てで計画した。材料使用料の削減、燃焼器具を採用しない等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他
Q1 室内環境 ・照度を高く確保することで、執務者の視環境に配慮している。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い内装仕上げ材の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・道路境界付近は積極的に緑化し、視点からの良好な景観形成へ配慮した計画としている。
LR1 エネルギー ・全面的なLED照明など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル ・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	LR3 敷地外環境 ・燃焼設備を使用せず、大気汚染防止を図っている。 ・駐輪場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-変-0001

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)モリタグループ関西地区営業拠点建設工事						
	建設地	大阪府八尾市神武町						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.7	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							